

旅立ち

大切な第一歩を共に



MINAKO NOMOTO 2025

新年を迎えるにあたり
新しい年が明け、希望にみちた明るい一年になるよう気持ちもあらたに
新春を迎えました。

地球の温暖化や世界各地で起きている争いごとも多くなり、現在は
多難な世の中です。

そのような時だからこそ、私達ひとり一人が自覚しながら日々精進する
ことが大切です。

平和の尊さを大切にしながら、今年も明るく前進しましょう。

2025年1月吉日

代表理事 黒澤 厚

地域復興支援事業

【第8回セミナー実施】

第7回セミナーと同様に石川県金沢市のくろさわ文庫どんぐり倶楽部で「地域の民話や紙芝居の読み聞かせ」と、伝統工芸体験として「加賀友禅の体験教室」を2024年8月24日に実施いたしました。

4歳から12歳までの地元の子供たちとご家族、計48名にご参加いただきました。加賀友禅の体験教室では、新たな講師をお招きし、絵本などを入れられるトートバックのワークショップを体験。会場であるどんぐり倶楽部のイラストをモチーフにした、リスとどんぐりのイラストを講師がデザインして、もち粉と糠を原料にした自然の糊を置いたトートバックに、刷毛で色染め、染料を乾かしたのち、水洗いで糊を落とす工程を実施しました。

ご参加頂きました方々から好評のコメントを頂戴することができました。

【参加者様からのコメント】

- 親も子も大満足で楽しい時間でした。ありがとうございました。ご近所にこんな素敵な場所があって幸せです。
- 絵もとっても可愛くて絵具で塗っていく工程も楽しむことが出来ました。水で洗って色がどんな風にでてくるのかドキドキも感じられました。ありがとうございました。
- 子供も親も楽しめてとても良かったです。
- 紙芝居もお話も楽しかったです。染め体験もとても楽しかった。
- 貴重で楽しい体験ができ、子供も真剣に取り組んでいました。お話もとても楽しかったです。ありがとうございました。
- 非日常的な体験が出来、子供がわくわくそわそわしている姿がとても良かったです。



紙芝居



よみきかせ



リスとどんぐりのデザイン



刷毛で色染め



水洗いをして糊を落とす



トートバッグの完成

奨学生訪問第2弾

前回に引き続き、第7期奨学生訪問の様子をご紹介します。今回は北海道・山形地区です。次号では第3弾として、北海道・宮城・福島の奨学生訪問状況をご報告します。



飯田 葵様(中)
旭川医科大学医学部医学科
川村 祐一郎様(右) [名誉教授]

日本の小児医療を発展させるために、医師免許取得に向けて勉強中。

北海道ないしは日本のみならず、世界に目を向けて学ぶことが必要。医師になって医療を施すのみでなく、医療システムの観点からも現場の経験を活かしたい。



北川 友理様(中央左)
旭川医科大学医学部医学科
中山 恒様(中央右) [薬理学教授]

小学校教員としての社会人経験を活かし、臨床医学を学んでいる。地元の中学生向けの実験講座を毎年開催しており、ボランティアとして参加をしている。

また入学後すぐに、心臓外科の基礎研究チームに所属し、研究を続けている。



大村 莉乃様(中)
札幌市立大学大学院デザイン研究科デザイン専攻
博士前期課程
片山 めぐみ様(右) [デザイン学部准教授]

大学2年生で地域住民を対象に「八百カフェ」を企画し、年に6回開催をしている。

昨年は「居場所づくり」をテーマに卒論を作成。今は修士論文のテーマを検討中。今年から看護学部とも共同し、マルシェ内で健康相談や身体測定も実施、健康へのアプローチも進めている。

そのような経験から社会福祉士の勉強もしている。



山平 真緒 様(右)

山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース

多岐にわたる心理学の中でも家族心理学について勉強している。具体的には家族間の問題として児童虐待やDV等が挙げられ、そういった問題がどんな影響を与えるのか、そしてどんな支援ができるのかといったことを学んでいる。

今は幅広い分野で公認心理士以外のインターンシップや会社説明会にも参加している。



小林 龍輝 様(中)

山形大学大学院理工学研究科理学専攻博士前期課程

並河 英紀 様(左) [理学部長教授]

学部3年次より始めたアルツハイマー病発症における液-液相分離現象の影響について言及した研究では、新たな機構の提唱として世界に先駆けてイギリス化学会より論文発表を行いました。また、共同で行っている海洋生物由来繊維状タンパク質を応用した環境志向繊維材料の開発に向けた研究では、目的タンパク質の構造化機構の仮説となる現象を発見し、論文をアメリカ化学会より投稿中です。

現在は産業技術総合研究所で技術研修を行っており、将来社会に貢献できる研究者になれるよう努力を継続して参ります。

「広場」 奨学生 / 指導教諭 / OB / OG 近況報告

【第12回】

2022年3月に秋田大学を卒業された、第3期奨学生のファム・ティー・ハーさんからメッセージをいただきました。

【現在の職業について】

現在、私はレイズネクスト株式会社の工務部に所属し、プロジェクト管理と品質管理に取り組んでいます。工務部の業務では、プロジェクトが計画通りに進むよう現場でのサポートや調整役として活動しており、実際の成果が形になる瞬間に大きなやりがいを感じます。また、ベトナムと日本の架け橋として、ベトナムに関わるプロジェクトにもサポートを行っています。

【職業選択のきっかけと学び】

幼少期に両親を亡くし、経済的に厳しい中で兄弟と支え合いながら育ちました。日本留学中も、アルバイトで自活しながら勉学に励みましたが、クロサワ育成財団の奨学金をいただいたことで、勉強に集中できるようになり、日々心から感謝しています。秋田大学で化学を学んだ際に培った分析力や問題解決力は、現在の仕事にも大きく活かされています。

【社会貢献への取り組み】

現在は日本で働いていますが、ベトナムの貧しい学生たちへの支援活動も続けています。昨年、ベトナム南部のダクルマン町の小学校で「貧しい子供たちに知識の宝庫を」というプロジェクトに参加し、図書館の建設を支援しました。また、今年からは特に学ぶ意欲の強い学生に奨学金を提供しています。支援を始めたのは、両親を亡くしながらも勉強を続けている中学校2年生で、彼が安心して高校まで学べるよう、学費を支援しています。将来、社会に貢献できる有意義な人になってくれることを期待しています。



第3期奨学生のファム・ティー・ハーさん

【第2回】

クロサワ育成財団 理事 新垣 るみ 様

【くろさわ文庫・どんぐり倶楽部】

小さい頃から図書館が大好きで、学校の図書室、市や県の図書館へとよく通っておりました。本が好き、とも言えますが、本に囲まれていることが好きだったのかもしれませんが。それは現在にも繋がっており、黒澤様から小さな図書館を作るお手伝い、管理等の依頼があった時は、宝箱をもらったようなワクワクでいっぱいでした。心地良い町家空間に、様々なジャンルの本がたっぷり。好きなものを引っ張り出し、畳でゴロゴロ読み放題！なんて素敵な場所なのかしらと足を運び入れる度にしあわせな気持ちに包まれております。年齢問わず楽しめる場所として少しずつ認知されてきている「くろさわ文庫・どんぐり倶楽部」。子ども達の未来の何かにつながる場所、きっかけづくりの場所として、多くの方に足を運んでもらいたいです。

【セミナーへの想い】

親子参加での伝統工芸体験ということで、加賀友禅の染めの技法を用いた染めの体験でした。親子での共同作業ということではなく一人一人の作品制作、工芸品を身近に見ることはあっても制作過程を見ることがや制作体験はあまりない機会とあって楽しんでいただけた様子が見られました。自分で作ったものを得る喜び、体験を通して得られるものは大きいと思います。伝統工芸を守っていくことの大切さを知るきっかけの一端となる場として定着していくことを期待しております。



くろさわ文庫・どんぐり倶楽部

財団からのお知らせ

【第8期奨学生（2024年度）について】

2024年9月30日に第8期奨学生の応募を締め切らせていただきました。109名の学生の皆様にご応募をいただき、誠にありがとうございました。

11月18日に仙台市にて一次選考通過者の19名で二次面接を実施し、最終的に11名の新たな奨学生をお迎えいたしました。

美しい言葉

No. 12

五福祥来

ごふくしょうらい

通解

五つの幸福がめでたく集まってくるの謂です。

五福とは、長寿、富裕、無病息災、道徳を楽しむ、天命を全うすること。

今回を持ちまして、美しい言葉は終了させていただきます。

公益財団法人 クロサワ育成財団 事務局／丹治・田村

〒104-0045 東京都中央区築地6-25-10 築地センタービル4階

TEL：03-6281-5140 FAX：03-6281-5141 URL：<https://www.kurosawfound.or.jp/>

月曜～金曜 午前9時～午後6時 ※年末・年始、祝日、当財団休日を除く

